



## 2026年 新年の課題

# 健康、環境…多重危機克服へ

## アグロエコロジーとローカル自給圏を重視

昨年はコメをはじめ多くの食品が値上がりしました。賃金も年金支給額も物価高に迫っていません。バブル崩壊後の経済停滞が続いています。コメ増産方針は朝令暮改されました。欧米諸国で行われている所得補償政策は日本では乏しく、農家経営は疲弊が続いています。平均年齢は70歳。このままでは日本の農業が消えかねません。

### 増える“ニセモノ”の食

過剰な森林伐採や農薬・化学肥料漬けの農業などにより、土壌劣化と水質汚染、地下水の枯渇、温暖化などの地球環境の危機が進んでいます。

遺伝子操作や分子農業が進み、“ニセモノ”の食が増えています。種子の独占や食の偏在、戦争による食供給網の切断などにより、食料安全保障が脅かされています。

一方で、首相による「存立危機事態」発言や政府高官による「核兵器保有すべき」発言など食料安全保障をも損ねかねない異常な流れが進んでいます。

人間の健康から暮らし、環境、平和に及ぶ多重危機が進んでいます。これらを克服することは可能でしょうか。

私は可能と信じています。若者と大人の意識変化が生まれているように感じるからです。

「ゲノム編集食品」の表示を求める意見書の採択が道内でも昨年、3増えて5自治体になりました。私が某大学で行っている「食と農」に

関する講義

(選択科目)の受講生数は5～6前の4倍に増えました。「コメ」「食料安保」「気候危機」などの依頼講演がここ1年ほどで急増しています。



久田 徳二 会長

## 植物と微生物の共生関係

「食と農」の危機突破への鍵は、植物と微生物が握っています。

植物と微生物の共生関係を大切にする、健康にも環境にも優しい農業を取り戻し、大気中の二酸化炭素の土中貯留を進める「4 per 1,000」プロジェクトがあります。環境危機と食料危機の同時克服を狙うフランス政府により提唱されました。

実践指針は単純明快で、柱は第1に森林破壊の抑制、第2に農家と都市住民の協力による「エコロジカル農業」の推進です。後者については、①土を裸にしない、②作物と土地を休ませる、③樹木とマメ科植物を植える、④家畜糞尿や堆肥を使い土壌に栄養を与える、⑤水生植物を植えて水を貯める—といった行動が例示されています。

<2面に続く>

## 有機給食などエンジンに

この農業こそ「アグロエコロジー」であり、これを地域住民の協力で創り守っていく有望なシステムが「ローカル自給圏」なのだと思います。オーガニック給食などをエンジンにして構築する実践例が各地に生まれています。この中

では人々と地球の健康と幸せ、豊かで温かいコミュニティが実現しています。北海道にもぜひ広げていきましょう。

アグロエコロジーは、都市住民もプランターなどにタネを蒔くことで、または近くの農家とつながることで参画可能です。みなさんもぜひお試しを！  
(久田 徳二)

# ゲノム意見書 石狩、小清水も採択

## 12月議会 国に表示などの検討求める

石狩市議会と小清水町議会が12月議会で、国に対してゲノム編集食品の表示を求める意見書を採択しました。

石狩市議会は「ゲノム編集技術応用食品の安全性審査の実施や表示を含めた消費者への情報提供の在り方について改めて検討を求める意見書」として提出。消費者の知る権利として表示の必要性を市民が議員に説明し、理解を得ることで採択となりました。

小清水町議会は「ゲノム編集食品の表示等を含めた消費者への情報提供のあり方について検討を求める意見書」として提出。当会が呼びかけたオンライン会合に参加した議員が他の議員

に働きかけ、全会派一致で提出されました。

道内では、ゲノム編集食品の学習会を開催して意見書提出を目ざしている議会や、「採択に向けて動きたい」との議員の声も届いています。2026年は、さらに多くの声を国へ届けていけるよう活動を進めましょう。  
(山崎 栄子)

つくって食べて…

1月24日に新年交流会



3回目になる新年交流会を企画しました。美味しいおつまみをつくって食べて、久田徳二会長のミニ講演「米騒動の原因と展望」を聞き、2026年の活動に向けて話し合います。

料理を教えてくださいるのは野菜ソムリエの松本真実さん。食材は、安平町のオーガニックファーム高林農園の農作物も使用し、同園の高林優一さんが参加予定です。みなさんの参加をお待ちしています。

■日時：1月24日（土）14:00～16:30

■場所：生活クラブ生協（札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15）2階調理室

■会費：2,000円 エプロン持参

■申込：上記の二次元コードからか、メール：  
mito@club.s-coop.or.jp または電話 011-887-8891 で。締め切りは1月15日。

### 北海道食といのちの会

会長 久田 徳二

事務局（事務局長 山崎 栄子）

札幌市厚別区大谷地東1丁目4番15号

生活クラブ生活協同組合北海道内

電話：011-887-8891

メール：mito@club.s-coop.or.jp

フェイスブック：

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Syoku.Inochi513/>



当会ホームページは左、フェイスブックは右の二次元コードからお入りください。

